

2024 年度 授業計画(シラバス)						
学 科	言語聴覚士学科	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習	
科目名	嚥下障害(成人)	必修/選択の別	必修	単位数(単位)	45	(2) 時間(単位)
対象学年	2年生	学期	前期	教室名	603教室	
担当教員	名古将太郎					
実務経験と その関連資 格	実務経験:25年 関連資格:言語聴覚士 日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 回復期リハビリテーション病棟協会認定 回復セラピストマネージャー					
《授業科目における学習内容》						
・テキスト / 講義資料に沿って基礎内容を学び、検査画像 / 動画などを交えて具体的な臨床症状 / 症例を紹介する。 ・評価や訓練方法などについては 講義 および 実技演習 を交えて行い、臨床現場において実践的な方法を学べる場を提供する。・グループワークを通じて症例検討などを実施し、定期的な小テスト / 振り返りテストを用いて学習内容の確認 / 定着を図る。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
(教科書)①標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学第2版 医学書院 / 言語聴覚士のための摂食・嚥下障害学 医歯薬出版株式会社 (参考書)②廣瀬 肇:実践 内視鏡検査(VE)動画でみる嚥下治療マニュアル インテルナ出版 ③日本摂食嚥下リハビリテーション学会(JSDR)会誌:17(1) 87-99, 2013、18(1) 55-89, 2014、18(2) 166-186, 2014 ほか						
《授業外における学習方法》						
・書籍 / 文献紹介・自主学習範囲内での課題提供 / 紹介など						
《履修に当たっての留意点》						
・嚥下障害概論(1年次必修)のポイントを十分におさえ、主体性を持って学び、探究心を持って臨んでください。・嚥下障害はチームで取り組むことが重要です。演習 / グループワークなどを通じて、多職種協業についても学んでいきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	基礎知識(解剖・生理学など)の再確認する。		①		
	各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害概論①				
第2回	授業を通じての到達目標	症例を通じて、摂食嚥下リハの流れを再確認する。		①		
	各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害概論② / 小テスト(第1~2回まとめ)				
第3回	授業を通じての到達目標	情報収集とスクリーニング検査内容 / 検査方法の確認		①、③		
	各コマにおける授業予定	症状とスクリーニング①				
第4回	授業を通じての到達目標	各スクリーニング検査方法の演習 / 習得		①、③		
	各コマにおける授業予定	症状とスクリーニング② / 小テスト(第3~4回まとめ)				
第5回	授業を通じての到達目標	検査内容と方法の確認①		①、③		
	各コマにおける授業予定	評価と診断①(嚥下造影(VF)検査ほか)				
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	授業を通じての到達目標	VF検査画像所見の確認と評価ポイントの確認①				

第6回	各コマにおける授業予定	評価と診断②(嚥下造影検査ほか) / 小テスト(第5~6回まとめ)	①、③	
第7回	授業を通じての到達目標	検査内容と方法の確認②		
	各コマにおける授業予定	評価と診断③(嚥下内視鏡(VE)検査ほか)	①、②、③	
第8回	授業を通じての到達目標	VE検査画像所見の確認と評価ポイントの確認②		
	各コマにおける授業予定	評価と診断④(嚥下内視鏡検査ほか) / 小テスト(第7~8回まとめ)	①、②、③	
第9回	授業を通じての到達目標	検査内容と方法の確認③		
	各コマにおける授業予定	評価と診断⑤(その他の検査方法)	①、②、③	
第10回	授業を通じての到達目標	検査 / 評価方法のまとめ		
	各コマにおける授業予定	評価と診断⑥ / 小テスト(第9~10回まとめ)	①、②、③	
第11回	授業を通じての到達目標	(食物を用いない)摂食嚥下訓練の方法を知る.		
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション①(間接訓練①)	①、③	
第12回	授業を通じての到達目標	(食物を用いない)摂食嚥下訓練の実施方法を演習 / 習得する.		
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション②(間接訓練②) / 小テスト(第11~12回まとめ)	①、③	
第13回	授業を通じての到達目標	(食物を用いた)摂食嚥下訓練の方法を知る.		
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション③(直接訓練①)	①、③	
第14回	授業を通じての到達目標	(食物を用いた)摂食嚥下訓練の実施方法を演習 / 習得する.		
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション④(直接訓練②) / 小テスト(第13~14回まとめ)	①、③	
第15回	授業を通じての到達目標	摂食嚥下リハの流れをつかむ.		
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション⑤(治療計画とゴール設定)	①、③	
第16回	授業を通じての到達目標	摂食嚥下リハにおける栄養管理を学ぶ.		
	各コマにおける授業予定	栄養管理 / 小テスト(第15~16回まとめ)	①	
第17回	授業を通じての到達目標	歯科領域との連携 / 症状の程度に応じた分類		
	各コマにおける授業予定	歯科口腔の問題とケア / 重症度と誤嚥の分類	①	
第18回	授業を通じての到達目標	摂食嚥下リハにおける外科的治療法を学ぶ.		
	各コマにおける授業予定	外科的治療: 適応、術式、症例ほか / 小テスト(第17~18回まとめ)	①	

第19回	授業を通じての到達目標	症例を通じて、訓練計画が立てられるようになる①		
	各コマにおける授業予定	症例検討①		
第20回	授業を通じての到達目標	症例を通じて、訓練計画が立てられるようになる②		
	各コマにおける授業予定	症例検討②		
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標	チームアプローチと医療倫理を考える.		
	各コマにおける授業予定	症例検討③		
第22回	授業を通じての到達目標	症例を通じて、訓練計画が立てられるようになる③		
	各コマにおける授業予定	症例検討④		
第23回	授業を通じての到達目標	症例を通じて、訓練計画が立てられるようになる④ / 全体まとめほか		
	各コマにおける授業予定	症例検討⑤ / これまでの振り返りほか		